

コロナ禍における障がい者福祉

◆コロナ禍の困惑はどう応えたのか

様々な障がい者福祉事業は行政のみで成立するものではなく、多くの事業者の方々の力で推進しています。事業者への支援はどのように行われたのでしょうか。



非常事態宣言下では事業者も利用者も控え気味だったが、在宅支援を主に継続して行った。市の対応は施設へのマスク、消毒液の支援を行い、国の補助金が支給されない部分については、市独自の支援を行った。

通所事業所は通うことがリスクとなるので、モバイル端末を貸与し、利用者はスマホで対応するなど、対面に頼らないサービスを続けている。

◆障がい者就労への影響について

市は2,000人雇用センターを設置、就労促進を図っていますが。

一般求人に比べ減少は小さい。令和元年1月から10月のセンターを通しての就労者は16名。令和2年の同期は29名。取り組みの成果と考えている。テレワークは障がい者にとって働きやすいが、仕事をやり過ぎるなど問題もあり、慎重に考えていく。

アダプト・プログラムの活用

このプログラムは平成12年、市民と行政の協働事業で公園や道路、ハイキングコースの美化清掃を行う目的で作られました。

コロナ禍で財政的にも大きな負担がありますが、単に財政を切り詰める行革を進めるのではなく、市民との協働によるまちづくりを進めるよう、強く要望しました。

前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員4期

大阪池田小事件から議員へ

2001年6月、大阪池田小学校に凶器を持った男が侵入。児童8名が殺害される事件が起きました。私が鎌倉市PTA連絡協議会会長として議事を進めている最中でした。刻々と入る事件の内容に会場が凍りついたのを覚えています。この時の、子どもたちの安全を守らなければという思いが市議会議員となるきっかけでした。議員となってただちに小学校に警備員を配置しました。

「共育のまち、鎌倉をつくろう」をテーマに、子どもたちを共に育て、育ち合う鎌倉を目指して努力しています。

前川あやこプロフィール

1960年、鎌倉市二階堂生まれ
聖心の園幼稚園
鎌倉市立第二小・中学校
私立聖園女学院高等学校
日本大学文理学部英米文学科卒

鎌倉市立第二小PTA副会長・会長
鎌倉市PTA連絡協議会会長
鎌倉市青少年指導員
鎌倉市立第二中学校同窓会会長
鎌倉日大桜門会副会長

◎鎌倉市議会議員として
(2005年初当選 4期目)
鎌倉市議会80年の歴史のなかで
初の女性議長を務める
鎌倉市議会議員15年の表彰を受ける
教育・こどもみらい常任委員会委員長
市議会広報委員会副委員長
自治基本問題調査特別委員会副委員長
鎌倉市議会運営委員会副委員長
決算等審査特別委員会委員長
「よりもジャパン」議員連盟会長

地域コミュニティ活動

- 若宮大路の美化を進める「グリーン・クリーン運動」に参加。
「かまくら桜の会」会員
- 「大蔵頬朝 桜道の会」会員
- 精神障害者地域活動支援センター 倶楽部「道」会員
- 「篠笛の会」会員
- 「宅間ボランティアの会」会員
- 「木遣りの会」会員
- 「浄明寺町内会」副会長

前川あやこ後援会 会長 山田明美

【発行・連絡先】前川あやこ後援会事務所
【住 所】〒248-0003 鎌倉市淨明寺2-10-8 【TEL/FAX】0467-23-0964
【E-mail】info@maekawa-ayako.net 【HP】https://maekawa-ayako.net

前川あやこの活動は
ブログ「いやさか通信」、Facebook
Instagramをご覧ください。



共育のまち、鎌倉をつくろう



第二小学校ブロック自主防災委員会で
作成していた「鎌倉市第二小学校ブ
ロックの地域防災マニュアル」が完成
しました。同ブロックア町内会の役員
(私も参加)の制作で、各ご家庭に配布
いたしました。ぜひ保存していただき
たいと思います(2020.11)

前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員4期

レポート

NO.68

2021.1発行

2020年12月議会からのご報告

- コロナ禍における障がい者福祉
- アダプト・プログラムの活用
- コロナ禍における高齢者福祉
- これまでの活動と今後の課題



討議資料

コロナ禍における高齢者福祉

◆高齢者の健康管理について

介護事業所の利用は、控える人が多いと思われるが、どのような状況だろうか。

事業を続けられず閉所した所(1ヵ所)もあるが、利用状況は全体に控えめで少ない。またご家庭への訪問もできないことから、事業所同士あるいはご家族との連携をオンラインで行う体制づくりに努めている。

自宅にこもり運動不足になり、健康状態に不安をかかえる高齢者も多いと思うが、市はどのような対応をとっているのでしょうか。

75歳以上の高齢者20,000世帯に、市長からの手紙、相談窓口のご案内(☎0467-61-3977)、免疫力upの運動についてのリーフレットを郵送。3月30日から11月まで530件の相談があった。民生委員、老人クラブの協力を得ながら進めている。

◆高齢者のデジタル能力の向上

高齢者が様々なサービスを受けるにも、スマホやパソコンが必要な時代になっています。市ではどのような対策をとっていますか。



スマホ教室やパソコン教室はコロナの影響でなかなか始められなかったが、11月13日に腰越地区でスタート。今年度中に他の4地区で開催する予定。

IT技術の活用には町内会館や公共施設でのWi-Fi設備が必要です。

現在災害避難所には設置されている所が多いが、各町内会館、老人福祉センターへの設置を検討している。



子育てから教育、福祉さらに産業、防災に尽力

保育園開設など子育て実績

- 浄明寺地区に保育園を開設
- 幼稚園での預かり保育を実施
- 産後ケア、虐待防止の保護者支援
- 障がい者へ一貫した支援を提案
- 障がい者雇用支援対策の充実



小中学校の教育環境の改革

- 市内全小学校に警備員配置を実現
- 老朽化した小学校校舎を改修
- 第二中学、大船中学の改築を完了
- 中学校給食を実現



【中学校給食】平成21年に要望を始めて8年の歳月が経ったが、開始とともに大変好評なのが嬉しい。

3世代が共に活躍するまちへ

- みらいふる鎌倉、鎌倉漁協と協力、三世代交流事業を充実
- フレイル予防のためのサポーター養成
- 「地域包括ケアシステム」の充実



【三世代交流事業】令和2年はコロナのために中止となったが、すでに8回。毎年のお手伝いも楽しみ。



【台風15号被害】鎌倉初の自衛隊による災害派遣を受けた二階堂のがけ崩れ。避難所の開設、発電機の準備、食事の用意などを現地でお手伝いさせていただいた。

災害多発時代に備える施策

- 民有地の危険樹木伐採、6年毎を3年毎に
- 危険斜面・樹木の管理に
　　府内連携組織を設置
- 令和元年の台風15号被害では現地で活動
- 避難所の長期化に備えて施設設備を充実

鎌倉を支える産業、施設

- 鎌倉歴史文化交流館の開館に努力
- 鎌倉船揚場建設に向け県に要望
- 「屋外広告物条例」の早期制定に努力

優しいまち、安全なまち 豊かな鎌倉を目指します

子育てしやすい鎌倉の実現

- 鎌倉市独自で第1子保育園等無償化を
- 待機児童対策に保育士の確保を
- 障がい者就労の場を拡大
- 幼保～小中、継続した発達の支援

緊急提案!!

コロナ禍の時代
児童、生徒の
インフルエンザ
予防接種の
負担軽減を!

いじめ対策、オンライン授業も

- 中学校のいじめ対策にスクールバディ制度
- 地震・津波避難訓練を風水害も対象に
- 小中学校のオンライン授業の充実
- 少人数学級や地域の力で小1プロブレム対応
- 不登校解消へ向けての支援



【エンディングノート】もしもの時に自分の意志を伝える。市の高齢者いきいき課で配布している。

多世代交流と高齢者支援

- 「終活情報登録伝達事業」の立ち上げ
- 2025年の超高齢社会問題への対応
- 青少年の居場所・多世代交流の場づくり
- 社会の担い手となる青少年の育成
- 共生と協働のまちづくりの推進

緑を管理して安全なまちへ

- 保存する緑から計画的に管理する緑へ
- 民有地の伐採、防災への補助金の充実
- コロナ時代に対応できる避難所の拡充
- 災害情報の一元管理、ITシステムの構築

文化のまち、基盤を堅固に

- 俳句の世界無形文化遺産登録を
- 交通不便の解消にモビリティサービス
- 災害対策としても必要な漁業施設の進捗
- 市のコンピューターシステム構築を急ぐ